

みやこんじょ



No.73

発行日 令和5年12月1日
発行 独立行政法人国立病院機構
都城医療センター
宮崎県都城市祝吉町5033番地1
TEL 0986-23-4111

基本
理念

高度で良質な医療を提供し、病む人々が安心し、信頼できる病院をめざします



放射線治療に関するご案内

放射線治療装置の更新のため、令和5年6月より
治療業務を休止しておりましたが、本年11月より再開いたします。

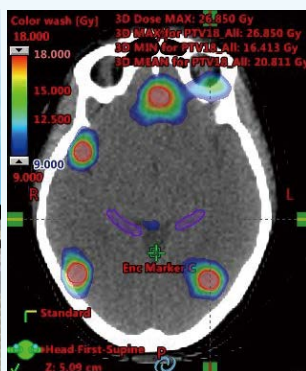


新装置の概要と特徴

- 1 最新型リニアック装置 varian 社製 TrueBeam を導入いたしました。
- 2 従来の装置と比較して、治療照射野形状を病巣形状にフィッティングする機能が優れています。そのため病巣周辺の正常組織への線量を抑えつつ病巣への治療線量を確保することができ、より高精度な治療が可能となります。
- 3 X線検査で用いられるX線管と検出器を搭載した照射位置照合装置と6軸可動寝台により、細かい位置合わせが可能となり、高精度な治療を実現します。

脳定位放射線治療について

HyperArc機能 の導入により、脳定位放射線治療が実施可能となりました。



HyperArc：主に転移性脳腫瘍に対する定位手術的照射（SRS）や定位放射線治療（SRT）を短時間で効率的に行うことができる最新の照射技術になります。

自動化

- ・治療台回転
- ・ガントリー回転
- ・コリメータ回転
- ・MLC開度
- ・MVフラットパネル

▶ 短時間照射を実現します

▶ 複数の腫瘍に同時に照射を実現します

治療の適応については、
放射線科医までご相談ください。

(Varian Medical Systems, Inc. の厚意により掲載又は転載が許諾されています。無断複写・転載を禁じます。)

診察の予約方法

従来通り、下記の手順にて診察の予約をお受けいたします。

- ① 当院の地域医療連携室へ初診紹介予約申込書をFaxでご送付ください。
- ② 受診日決定後、地域医療連携室よりご連絡を差し上げます。
- ③ 診療情報提供書をFaxでご送付ください。

▼放射線治療のご予約 または お問い合わせ▼

地域医療連携室

Tel : 0120-411-329 (直通) Fax : 0986-26-1893 (直通)

独立行政法人 国立病院機構 都城医療センター

第11回 市民フォーラム

第11回市民フォーラムを、都城市、都城保健所との共催で、令和5年9月9日土曜日にウェルネス交流プラザで開催いたしました。

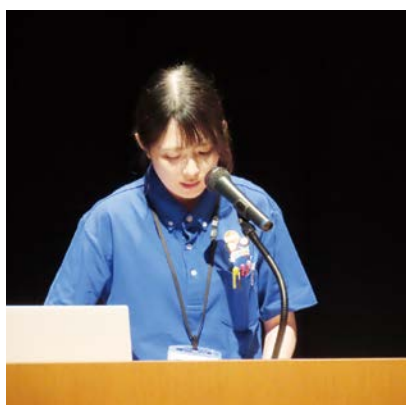
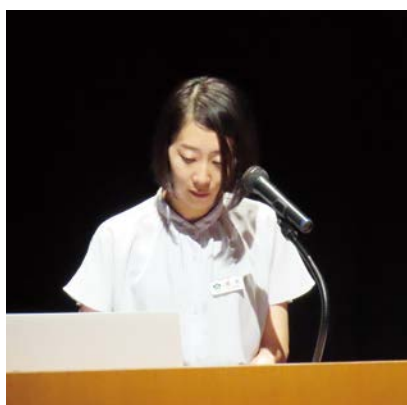
コロナ禍は開催が延期され4年ぶりの開催となりました。前回開催時の中心メンバーは人事異動等でほとんどおらず、手探りの中での準備となり、広報活動など苦労しながらも開催を迎えることができました。

今回のテーマは「がんについてもっと知ろう～予防・治療・そして緩和ケア～」としました。また会場には、参加者の皆さんが日頃の健康に対する疑問に気軽に相談できるように、医師による健康相談を初め、医療ソーシャルワーカー、看護師、薬剤師、栄養士による各種相談コーナーを設けました。

講演では、初めに都城市健康部健康課 黒木 麗様より「そうだ!検診に行こう」～がん検診は、がんで命を落とさない近道です～という演題でがん検診の重要性、がん検診の流れについて講演いただきました。次に都城保健所 長岡 彩夏様より「宮崎県のがん対策について」宮崎県におけるがん対策をお話いただき、当院からは呼吸器腫瘍センター長 加藤 文章先生より「肺がんについてのお話」という演題で肺がんの基礎的情報から宮崎県では当院だけが行っている低侵襲手術である単孔式胸腔鏡手術についてのお話をいただきました。

講演では、初めに都城市健康部健康課 黒木 麗様より「そうだ!検診に行こう」～がん検診は、がんで命を落とさない近道です～という演題でがん検診の重要性、がん検診の流れについて講演いただきました。次に都城保健所 長岡 彩夏様より「宮崎県のがん対策について」宮崎県におけるがん対策をお話いただき、当院からは呼吸器腫瘍センター長 加藤 文章先生より「肺がんについてのお話」という演題で肺がんの基礎的情報から宮崎県では当院だけが行っている低侵襲手術である単孔式胸腔鏡手術についてのお話をいただきました。

特別公演では、都城出身の現在東京で緩和医療専門医として働いている林 章敏先生より「緩和ケア＝末期とおもっていませんか?」というテーマで、ホスピス・緩和ケアの歴史から緩和ケア医としての理念等の具体的エピソードを交え講演いただき、参加者の皆さんも聞き入っていました。



参加された方からは、「緩和ケア＝末期と思っていましたが、そうではないことが良くわかりました」などの感想をいただきました。

私自身、「なんとなく分かったつもり」ではありましたが、特別公演のなかでの愛犬との写真のエピソードを聞いて、緩和ケアという言葉が心の中で落ち着くべきところに落ち着いたような気がします。

今後も地域がん診療連携拠点病院として、地域の方々の健康の増進と、がんの予防及び治療、そして緩和ケアのための取り組みを継続していきます。

(経営企画係長 高園 和明)

連携医療機関のご紹介



医療法人社団清風会

清風会クリニック

住所：〒885-0023 宮崎県都城市栄町 12-1

電話番号：(0986) 25-1177

診療科目：血液内科 泌尿器科

休診日：血液内科 土曜日午後／日祝

泌尿器科 木曜日午後／日祝



院長 中野 伸亮 先生



清風会クリニックは、栄町のイオンモール近くに開院したばかりの血液内科、及び泌尿器科を標榜するクリニックです。もともとは、義父の花房明憲先生により開設された花房泌尿器科医院として、都城地区で泌尿器科、透析医療を36年間行っておりましたが、医療法人の事業承継に伴い、血液内科を新たに加え、建物、クリニック名を刷新し、2023年8月末に新たな形で開院いたしました。

当院には19床の入院病床があり、その内11床はクリーンルームを完備しております。また、通院での化学療法が可能となるよう、10床の外来化学療法室、院内検査室やCT等備え、がん化学療法看護師、薬剤師、検査技師も常勤し、血液診療を本格的に行うことが可能な施設となっております。透析医療においては、外来透析病床67床備えております。私自身は、長年、鹿児島市や東京都など都市部での血液診療を行って参りましたが、地方にお住いの患者様が、通院されるご苦労を目の当たりにして参りました。

そのような患者様が、お住まいの地域近傍で化学療法などの専門治療が受けられる環境が整うといいなと考えて参りました。当院が都城市とその周辺の地域にお住いの患者様、特に高齢患者様の福音となれと幸いです。

泌尿器科、及び透析医療に関しましても、従来からのこの地域での役目を継続して果たせるよう、鹿児島大学の泌尿器科のバックアップのもと、近隣の医療機関の皆様のお力添えをお願いしつつ、今まで以上の貢献ができることを目指して参ります。

医療の均てん化が叫ばれる近年、クリーンルームを備えた入院施設や外来化学療法室をはじめとした本格的な血液診療や泌尿器科、透析医療という必要不可欠な医療を地方で行う当院の試みは、地域専門医療としての新たな提言となるうかと思っております。

地域の患者様方の一助となるようスタッフ一同、診療に励んで参りたいと存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

メディカルキッズ医療体験ツアー

令和5年8月4日にメディカルキッズ医療体験ツアーが4年ぶりに開催されました。新型コロナウイルスの感染が心配される中ではありましたが、22名の中学生がユニホームを身にまとい医療体験に臨みました。午前は「シミュレーターを使った採血体験」「BLS訓練」「超音波体験」「顕微鏡検査」「調剤体験」をしました。午後は、ブラックジャックコースとナイチンゲールコースに分かれて「縫合体験」「内視鏡操作体験」「車いす・高齢者体験」「新生児看護体験」を行いました。また、初の試みとして、昼食に病院食を準備していただき「病院食体験」も行いました。これらの体験の中で薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士とも関わり、医師、看護師だけでなく職種にも関心が深まったようです。どの体験も目をキラキラと輝かせながら取り組んでおり、「楽しかった」「もっといろいろと体験したかった」との言葉が聞かれ、あっという間の一日となりました。最後に、吉住院長から授与された修了証書と写真を記念品として医療体験ツアーを終了いたしました。今回の体験がきっかけとなって、医療職という将来の夢に繋がっていくことを願っています。

(担当看護師長 阿久根純)



車いす・高齢者体験



顕微鏡検査



調剤体験



採血体験



新生児看護体験



内視鏡操作体験



BLS 体験

NST専門療法士教育研修

第6回NST専門療法士教育研修を令和5年7月10日～7月14日の5日間にわたり開催しました。参加者は県内から13名、県外から7名、院内から3名の合計23名、参加職種は、看護師9名、管理栄養士9名、薬剤師3名、作業療法士1名、理学療法士1名でした。

今年度は、昨年度の研修生の感想や講師陣からの意見などを取り入れ、ワークショップを増やし、より実践に近い形での研修内容へ変更いたしました。また、今回の研修では副院長による、経鼻経管栄養チューブや胃瘻造設キット、点滴チューブなどについての講義を行いました。研修を終えた感想で「研修に参加したことで、栄養管理の重要性や患者一人一人の病状に応じた栄養管理の必要性を実感できた」「実際に機材に触れることで、患者さんの苦痛を少し理解することができた」など、研修生のほとんどの方から有意義な研修であったとの感想を頂きました。今年もしっかりと感染症対策を行い、各部門のご協力を頂き無事に終了することができました。



来年度も開催を予定していますので是非ご参加ください。また栄養に関する相談もホームページのNST栄養サポートチームからE-mailにて受け付けています。

(NST専任管理栄養士 砂川寿乃)



看護学校祭

令和5年10月14日(土)に看護学校祭を行いました。今年は、互いにポジティブな刺激を与えあい、昨日より今日を更新しつづける日々を過ごしてほしいという思いを込めて「Brighter Day ～明るい未来へ～」というテーマで行いました。

当日は学習発表会において、各学年の学びが発表され、ステージでの特技披露やよかまちLABOの方による講演、バザー、縁日などの催しが行われました。

各学年の学習発表会では、1年生は理想の看護師とSDGsについて、2年生は地域看護について、3年生は災害看護について発表しました。1年生の発表では、患者に寄り添うことの大切さや、SDGs達成のために自分たちができる取り組みを積極的に行うことの重要性を学びました。2年生の発表では、自分たちの住んでいる地域に関心を持ち続けることの大切さを学びました。3年生の発表では、自分や周りの人たちの命を守るために、1人1人が防災対策を行うことの重要性を学びました。他学年がどのようなことを学んでいるのかを知ることができ、大変充実した時間となりました。

部門の催しでは、手浴やバザー、縁日、映えスポット、特技披露など部門ごとに様々な企画が行われました。どの部門も、限られた時間の中で協力して準備を行い、学年を超えて絆が深まったように感じました。さらにはお菓子やお弁当、ドリンクなどの販売、よかまちLABOの方による講演など、地域の方々にもご協力いただきました。

病院スタッフの皆様には、バザーのご協力や当日多くの方にご来校頂き、母体病院があることの心強さを感じご支援いただいたことに心よりお礼申し上げます。

(学校祭実行委員)



今年9月の宮崎日日新聞の新聞記事に都城医療センター附属看護学校の学生の記事が紹介されました。

宮崎日日新聞様より転載の許可を頂きましたので掲載いたします。

患者寄り添う 看護師になる

看護学校学生
緒方 琉華 18

私の夢は、患者さんの心に寄り添える看護師になることだ。あの時の看護師さんは、私にとつてのヒーローであり、憧れの人物だ。中学1年生の時、私は膝の手術をするために、1週間入院をした。家から約2時間の病院に入院していた。まだ13歳だった私は、1週間も自分の家ではない所に泊まるのは、初めての経験であった。

家から病院までは、時間もガソリン代もかかるため、家族は3日に1回しか、お見舞いに来られなかった。さらに、お見舞いに来ても1、2時間ほどしか滞在できなかった。私は、すごく孤独感で、さびしく

感じていた。

そんな中、ある看護師さんが、病室に来るたびに話しかけてくれた。たわいもない会話だったけれど、すごくうれしかった。この時以来、私は、この看護師さんみたいに、誰かの心に寄り添える看護師になりたいと思うようになった。

(都城市)

夢は助産師に 母子支えたい

看護学校学生
用貝 心乃 18

私の夢は、助産師になることだ。小さい頃から赤ちゃんが好きで、赤ちゃんに関わる仕事がしたいと思う。助産師になると決めた。

助産師の仕事は、妊娠から出産、育児に至るまで、母子の健康を支える、指導する、赤ちゃんを取り上げるなどがある。出産は、人生の中で大切な出来事の一つであり、その場面に関わることができるのは、すばらしいことだと思う。

一方で、出産はいつあるかわからなかったり、流産や死産にも立ち会ったりするなど、大変なことやつら

いこともある。妊婦さんに寄り添い、不安や悩みを少しでも減らすことができる助産師になりたい。

現代の日本では、10代の出産、中絶、虐待などの問題がある。妊娠や育児での不安やストレスを、誰にも相談できない人が多いと思う。そのような人々を助けられるようにしたい。

そのためには、多くの知識や技術が求められるので、勉強して助産師国家試験に合格できるように頑張りたい。

(都城市)

「未来の自分」 頼れる存在に

看護学校学生
坂元 葵 19

29歳になった私は、元気にしていますか。看護師として働き始めて7年目。多くの患者さんや後輩の看護師が、頼れる存在になっていますか。

現在、看護学生1年目の私は、未来の私に向かって勉強に励んでいます。最近では、新しい夢ができました。たくさんさんの経験と知識、働きながら育てた看護観を看護学校の教員として伝えることです。

努力をして得た知識を生かして働くことに魅力を感じて、看護の道を選びました。生き生きと自分自身の経験や看護観を語る看護学

校の先生方が印象的です。だから、看護師になった私は、一人一人に向き合い、多くの困難も前向きに乗り越えてほしいです。日々、その患者さんにとって最新の看護とは何か模索して、いろいろなことを経験して知識を蓄えて、いつかの看護学生のために準備を

していきたいです。きっと今の私も、あなたのために勉強して、少しかもしれないけど、夢のお手伝いができるように頑張ります。

(都城市)

外来診療科別週間担当医当番表

独立行政法人
国立病院機構 都城医療センター

【全診療科 初診予約制】受付時間 8:30 ～ 11:00

【2023 年 10 月 1 日】

診療科名等			月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内 科 ※2	初 診	血 液		前 田 宏 一		佐 藤 誠 一	
		肝	加 藤 順 也				
	再 診		前 田 宏 一 佐 藤 誠 一	前 田 宏 一 佐 藤 誠 一	前 田 宏 一 加 藤 順 也 上 蓮 天 綾 子	前 田 宏 一 佐 藤 誠 一 加 藤 順 也	前 田 宏 一 佐 藤 誠 一 加 藤 順 也
循 環 器 内 科	一 般		剣 田 昌 伸	剣 田 昌 伸	剣 田 昌 伸	剣 田 昌 伸	宮 崎 大 学 医 師
	特 殊				心臓CT		
呼 吸 器 内 科	初 診		白 濱 知 広		白 濱 知 広	今 津 善 史	
	再 診		今 津 善 史 白 濱 知 広	今 津 善 史 白 濱 知 広	今 津 善 史 白 濱 知 広	白 濱 知 広	今 津 善 史 白 濱 知 広
呼 吸 器 外 科	初 診		手 術 日 (午前)	加 藤 文 章	手 術 日	富 田 雅 樹	
	再 診		加 藤 文 章 (午後)	富 田 雅 樹		加 藤 文 章	加 藤 文 章
小 児 科	午前	1 診	保 田 恵 里 花	入 江 慎 二	児 嶋 耕 太 郎	二 見 加 菜	楯 真 由 美
		1 診	入 江 慎 二	保 田 恵 里 花	二 見 加 菜	児 嶋 耕 太 郎	入 江 慎 二
	午後	2 診	児 嶋 耕 太 郎	楯 真 由 美	楯 真 由 美	保 田 恵 里 花	二 見 加 菜
		3 診			シナジス外来 (8月～3月)		
外 科	初 診		遊 佐 俊 彦		藏 元 一 崇		大 徳 暢 哉
	再 診		藏 元 一 崇 遊 佐 俊 彦	手 術 日	藏 元 一 崇 遊 佐 俊 彦	手 術 日	大 徳 暢 哉 大 山 尾 宣 暢
	特 殊		乳 腺 (藏元一崇)		乳 腺 (藏元一崇)		
消 化 器 病 セ ン タ ー	初 診		駒 田 直 人	駒 田 直 人	内 視 鏡 検 査 ・ 治 療	駒 田 直 人	
	再 診		藤 原 利 成	駒 田 直 人			駒 田 直 人
	内 視 鏡		駒 田 直 人				藤 原 利 成
N S T 外 来				駒 田 直 人 (第二、四火曜日 14:00～16:00)			
整 形 外 科	初 診			濱 田 浩 朗 吉 川 教 恵	手 術 日	濱 田 浩 朗 吉 川 教 恵	
	再 診		吉 川 教 恵	吉 川 教 恵		山 元 楓 子	吉 川 教 恵
	特 殊 検 査		骨 粗 鬆 症 検 査	骨 粗 鬆 症 検 査	骨 粗 鬆 症 検 査	骨 粗 鬆 症 検 査	骨 粗 鬆 症 検 査
リ ウ マ チ 科 ※2	初 診		濱 田 浩 朗	濱 田 浩 朗	手 術 日	濱 田 浩 朗	濱 田 浩 朗
	再 診		濱 田 浩 朗 吉 川 教 恵	濱 田 浩 朗 吉 川 教 恵		濱 田 浩 朗	濱 田 浩 朗 吉 川 教 恵
泌 尿 器 科	1 診			山 崎 丈 嗣	山 崎 丈 嗣	慶 田 喜 文	山 崎 丈 嗣
	2 診		手 術 日		慶 田 喜 文		慶 田 喜 文
皮 膚 科				中 山 文 子 (9:30～13:00)		中 山 文 子 (9:30～13:00)	中 山 文 子 (9:30～13:00)
神 経 内 科						杉 山 崇 史	
産 婦 人 科	初 診		西 村 美 帆 子	古 田 祐 美	松 敬 介	宮 崎 大 学 医 師 (第二・第四各週)	古 田 祐 美 西 村 美 帆 子
	再 診		古 田 祐 美	古 田 祐 美 松 敬 介	古 田 祐 美 西 村 美 帆 子	松 敬 介 宮 崎 大 学 医 師 (第二・第四各週)	西 村 美 帆 子 古 田 祐 美
耳 鼻 咽 喉 科	一 般		外 山 勝 浩 久 富 木 冠	外 山 勝 浩 久 富 木 冠	外 山 勝 浩 久 富 木 冠	外 山 勝 浩 久 富 木 冠	手 術 日
	難 聴 外 来		久 富 木 冠 (14:00～17:00)				
放 射 線 科	放 射 線 治 療		新 村 耕 平	新 村 耕 平	新 村 耕 平	新 村 耕 平	新 村 耕 平
	画 像 診 断		日 野 祐 一	日 野 祐 一	日 野 祐 一	日 野 祐 一	日 野 祐 一
歯 科 口 腔 外 科	一 般		田 畑 雅 士 新 屋 俊 明	田 畑 雅 士 新 屋 俊 明	田 畑 雅 士 新 屋 俊 明	田 畑 雅 士 新 屋 俊 明	手 術 日
	ペインクリニック						横 山 幸 三 (終日手術・外来不定期)
	障 がい 者 歯 科						森 主 宣 延 (月2回)
が ん サ ポ ー ト 外 来							岩 崎 竜 馬
緩 和 ケ ア 外 来							林 章 敏 (第四金曜日)
特 殊 外 来			マ ザ ー ク ラ ス (第二土曜日・第四月曜日)	リンパ浮腫外来 フットケア外来	助 産 師 相 談 室 (午後)	リンパ浮腫外来 P I C C 外 来 (午後)	ス ト ー マ 外 来 (午後) 母 乳 外 来 遠 伝 カ ウ ン セ リ ン グ 外 来 (14:00～15:00)

※1 全診療科初診予約制となりますので、事前に診療FAX連絡票にてご連絡頂きますようお願いいたします。

※2 医療機関の方へ：血液内科、リウマチ科の初診については、事前に初診紹介予約申込書と共に、最新の血液データを送ってください。

【地域医療連携室・がん相談支援センター】フリーダイヤル (0120) 411-329 FAX (0986) 26-1893



独立行政法人
国立病院機構

都城医療センター

(地域がん診療連携拠点病院・
地域周産期母子医療センター)

〒885-0014 宮崎県都城市祝吉町5033番地1

TEL/0986-23-4111(代表) FAX/0986-24-3864

E-mail/621-miyakonojo@mail.hosp.go.jp http://www.nho-miyakon.jp

編集発行：広報委員会

9月発行広報誌みやこんじょ No.72の「連携医療機関のご紹介 ペテスダクリニック」において医療法人名の誤りがございました。謹んでお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正申し上げます。

〈誤〉医療法人 倫生会 〈正〉医療法人社団アブラハムクラブ